



2025年11月28日
第83号

JR 東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申
第8号

磯子駅における「車内貫通作業省略の トライアル」の中止を求める緊急申し入れ **11月28日 提出！**

町田統括センター・橋本オフィスにおける11月の運転士訓練と車掌訓練において、磯子駅引き上げ線折り返し時における「車内貫通作業省略のトライアルについて」の説明がされました。磯子駅においても、11月の勉強会で同様の説明がされています。

横浜線からの直通列車のみが対象となっており、車掌および駅社員による車内貫通作業は行わず、運転士が放送を実施して目視でドアを閉扉し、入換を開始するとなっています。さらに、輸送混乱時もトライアルの対象とするとされていますが、現場からは「意図的に折り返し乗車するお客さまが多くなるのでは」「寝ているお客さまは放送だけでは気付かない」「解錠ハンドルを扱われる可能性があり危険」「酔客など暴力を受けたらどうすればよい」などの不安や懸念の声が多く上がっています。

今回の車内貫通作業省略は運転士を身の危険に晒すことになるだけでなく、引き上げ線まで誤乗したお客さまが解錠ハンドルを扱い隣接線に降車してしまうなどのリスクがあり、お客さまの命を危険に晒すことが想定されます。

JR東労組横浜地本は、社員やお客さまの安全上のリスクが多くの想定される磯子駅での車内貫通作業省略について、トライアルも含め容認することはできないため、11月28日、横浜支社に緊急申し入れを行いました。

【申し入れ項目】

1. 車内貫通作業省略について、実施可能な根拠と実施する目的を具体的に示すこと。
2. 入換車両に、お客さまが取り残された場合、またはお客さまが意図的に乗車された場合に発生した事故やトラブルに対する乗務員の責任を問わないこと。
3. 運転士が身の危険に晒され、お客さまの命にもかかわる問題があるため、トライアルも含めて車内貫通作業省略を中止とすること。

**効率化ありきでお客さまを危険に晒すトライアルは実施すべきではない！
安全上のあらゆるリスクを排除せず、社員が安心して働ける環境を実現しよう！**